

平成 27 年 9 月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成 27 年 5 月 14 日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社碧
コード番号 3039 URL <http://www.heki.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）西里 弘一
問合せ先責任者（役職名）取締役（氏名）浅井 道雄 TEL098-863-1533
中間発行者情報提出予定日 平成 27 年 6 月 30 日 配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無：無
中間決算説明会の開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成 27 年 9 月中間期の業績（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

(1) 経営成績

（%表示は対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 9 月期中間期	540	1.76	88	10.31	86	34.78	46	43.09
26 年 9 月期中間期	530	31.97	79	42.06	63	10.59	32	△22.54

	1 株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
27 年 9 月期中間期	78.76	78.63
26 年 9 月期中間期	55.04	54.94

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27 年 9 月期中間期	1,250	451	36.08	764.85
26 年 9 月期	988	404	40.95	686.12

（参考）自己資本 27 年 9 月期中間期 451 百万円 26 年 9 月期 404 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
26 年 9 月期	0.00	0.00	0.00
27 年 9 月期	0.00		
27 年 9 月期(予想)		0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成 27 年 9 月期の業績予想（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

（%表示は対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,125	8.8	106	△11.1	99	△5.6	63	110.1	107.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

(1) 中間財務諸表に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式含む）	27年9月期中間期	590,000株	26年9月期	590,000株
② 期末自己株式数	27年9月期中間期	—株	26年9月期	—株
③ 期中平均株式数（中間期）	27年9月期中間期	590,000株	26年9月期中間期	590,000株

※中間監査手続の実施状況に関する表示

この中間決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この中間決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく中間財務諸表の中間監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 中間財務諸表	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	7
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当中間会計期間におけるわが国経済は、継続した政府の経済政策や日銀による追加金融緩和等の推進による経済成長戦略への期待感から、景気回復への明るい兆しが見られたものの、円安による原材料価格の上昇やエネルギーコストの増加、消費税後の個人消費の落ち込みなど、依然として景気の先行きは不透明な状況にあり、引き続き厳しい経営環境となっております。

外食業界におきましても、一部においては消費者マインドの改善傾向から客単価の上昇も見られたものの、消費税の直接的な影響を受ける消費者マインドの悪化から、全般的には依然として防衛意識や節約志向が残り、業界環境は厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社では、店舗運営における食品素材へのこだわり、社員教育の徹底等により会社理念でもある「お客さまに満足感をご提供する」ことに努めた結果、来店者数は増加傾向を維持し、また、消費税の影響を大きく受けることなく客単価も維持することができ、堅調に推移いたしました。

当社は、全社成長戦略の一環として、平成26年10月より本社機能の充実、社員研修施設の更なる拡充並びに「碧」及び「紺」の新規出店を目的に、平成27年6月を完成予定とする地上4階建て新本社社屋（那覇市東町）を建設中であります。また、店舗運営の効率性向上をはかるため「碧」牧志店、「碧」おもろまち店、「碧」松尾店のリニューアル工事を順次進める予定であります。そのためリニューアル工事にもなう設備等の減損処理を実施しております。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は540,169千円（前年同期比1.76%増）、営業利益は88,230千円（前年同期比10.31%増）、経常利益は86,104千円（前年同期比34.78%増）、中間純利益は46,467千円（前年同期比43.09%増）となりました。

なお、当社はレストラン事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末と比べ46,507千円増加し、331,486千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加26,928千円、預け金の増加6,642千円、売掛金の増加5,945千円によるものであります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産は、前事業年度末と比べ215,643千円増加し、919,184千円となりました。これは主に、新本社社屋の取得に関連する建設仮勘定の増加230,622千円、ソフトウェアの増加3,390千円によるものであります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債は、前事業年度末と比べ235,814千円増加し、747,283千円となりました。これは主に、新本社社屋の取得に関連する短期借入金の増加160,000千円、設備未払金の増加84,212千円、未払法人税等の増加12,510千円によるものであります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債は、前事業年度末と比べ20,108千円減少し、52,128千円となりました。これは主に、長期借入金の減少22,243千円によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ46,446千円増加し、451,258千円となりました。これは主に、中間純利益の計上による繰越利益剰余金の増加46,467千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して36,928千円増加し、61,496千円となりました。

当中間会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は 40,673 千円となりました。これは主に、税引前中間純利益 75,829 千円を計上したことのほか、減価償却費 14,004 千円、減損損失 10,263 千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 137,162 千円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出 20,000 千円、有形固定資産の取得による支出 147,162 千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は 133,417 千円となりました。これは短期借入れによる収入 160,000 千円、長期借入金返済による支出 26,306 千円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成27年9月期の業績予想につきましては、平成26年11月14日に公表した「平成26年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

4. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当中間会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	214,568	241,496
預け金	26,424	33,067
売掛金	15,466	21,412
商品及び製品	1,745	1,902
原材料及び貯蔵品	9,186	8,186
前払費用	8,016	11,830
繰延税金資産	6,134	5,821
その他	3,435	7,768
流動資産合計	284,978	331,486
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	209,009	188,617
車両運搬具(純額)	1,580	1,084
工具、器具及び備品(純額)	10,691	8,502
土地	353,554	353,554
建設仮勘定	8,783	239,405
有形固定資産合計	583,620	791,165
無形固定資産		
ソフトウェア	1,634	5,024
電話加入権	28	28
無形固定資産合計	1,662	5,053
投資その他の資産		
投資有価証券	10,588	10,551
出資金	10	10
長期貸付金	3,852	3,555
保険積立金	9,941	12,699
長期前払費用	671	944
敷金・保証金	63,858	64,051
繰延税金資産	29,335	31,153
投資その他の資産合計	118,257	122,965
固定資産合計	703,540	919,184
資産合計	988,519	1,250,671

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当中間会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,621	22,404
短期借入金	350,000	510,000
一年内返済予定の長期借入金	51,302	47,239
リース債務	—	829
未払金	10,660	15,885
未払費用	25,145	23,178
未払法人税等	18,321	30,832
未払消費税等	21,188	—
賞与引当金	7,920	7,670
設備未払金	—	84,212
資産除去債務	2,296	2,306
その他	3,013	2,725
流動負債合計	511,469	747,283
固定負債		
長期借入金	22,243	—
リース債務	—	3,041
退職給付引当金	8,533	7,427
資産除去債務	41,461	41,659
固定負債合計	72,237	52,128
負債合計	583,707	799,412

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当中間会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,000	55,000
資本剰余金		
資本準備金	25,000	25,000
資本剰余金合計	25,000	25,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	324,695	371,163
利益剰余金合計	324,695	371,163
株主資本合計	404,695	451,163
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	116	95
評価・換算差額等合計	116	95
純資産合計	404,812	451,258
負債純資産合計	988,519	1,250,671

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)	当中間会計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
売上高	530,812	540,169
売上原価		
商品及び製品期首たな卸高	1,701	1,745
当期商品仕入高	21,005	21,532
当期製品製造原価	235,859	244,090
合計	258,567	267,368
商品及び製品期末たな卸高	1,861	1,902
商品及び製品売上原価	256,705	265,465
売上総利益	274,106	274,703
販売費及び一般管理費	194,125	186,472
営業利益	79,981	88,230
営業外収益		
受取利息	54	63
有価証券利息	54	54
受取配当金	8	9
受取地代	2,718	—
受取賃貸料	311	327
その他	620	199
営業外収益合計	3,768	653
営業外費用		
支払利息	1,807	1,975
社債利息	49	—
支払手数料	18,005	804
営業外費用合計	19,862	2,779
経常利益	63,886	86,104
特別損失		
固定資産除却損	15	11
投資有価証券評価損	22	—
役員退職金	500	—
減損損失	9,491	10,263
特別損失合計	10,029	10,274
税引前中間純利益	53,857	75,829
法人税、住民税及び事業税	25,524	30,851
法人税等調整額	△4,142	△1,489
法人税等合計	21,382	29,362
中間純利益	32,475	46,467

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)	当中間会計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	53,857	75,829
減価償却費	19,483	14,004
減損損失	9,491	10,263
投資有価証券評価損	22	—
固定資産除却損	—	11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,161	△1,105
賞与引当金の増減額(△は減少)	△160	△250
受取利息及び受取配当金	△117	△127
支払利息	1,857	1,975
売上債権の増減額(△は増加)	△4,886	△5,945
たな卸資産の増減額(△は増加)	△760	842
仕入債務の増減額(△は減少)	4,075	782
未払費用の増減額(△は減少)	1,101	△1,982
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,742	△21,188
未収消費税等の増減額(△は減少)	—	△3,968
未払金の増減額(△は減少)	3,123	5,225
その他	△6,942	△13,521
小計	87,049	60,845
利息及び配当金の受取額	131	128
利息の支払額	△2,105	△1,958
法人税等の支払額	△20,056	△18,341
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,018	40,673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△20,000
定期預金の払い戻しによる収入	—	30,000
有形固定資産の取得による支出	△358,555	△147,162
その他	15	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378,539	△137,162

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)	当中間会計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	350,000	160,000
長期借入金の返済による支出	△29,376	△26,306
社債の償還による支出	△5,000	—
リース債務の返済による支出	—	△276
配当金の支払額	△5,799	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	309,824	133,417
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,695	36,928
現金及び現金同等物の期首残高	80,939	24,568
現金及び現金同等物の中間期末残高	77,243	61,496

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)
当社は、レストラン事業の単一セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。